

フレンズジム通信

2019年 1月号

【活動報告】

変に暖かかったり、急に冷え込んだりで体調を崩す子どもも多かった11月からのフレンズジムですが、自由遊びでは元気いっぱい様々な遊びが繰り広げられています。

児童発達支援では人気のプラレールやトミカ、おままごとなどを大人やお友達とやり取りしながら遊んだり、お絵かきや折り紙などへじっくり取り組んだり、自分の好きな世界を見つけ楽しんでいきます。

放課後等デイサービスでは、誘い合ってカードゲームをしたり、同じ趣味の話で盛り上がっていたり、工作に挑戦する子どもいます。また、バランスボールで弾んだり、ボールゲームで身体を動かす子どもたくさんいます。どのお子さんも個性が光る遊びを展開しています。

【次年度利用案内に関して】

次年度へ向けての利用希望調査へのご協力誠にありがとうございます。曜日の変更や送迎時間の変更など、1月上旬には決定してまいりますので、今しばらくお待ちください。

通信やスケジュールカレンダーはフレンズジムのホームページでもご確認いただけます！

毎月下旬にはスケジュールカレンダーを更新、月初には通信を更新しています。 <http://friendsgym.jp/>

【実装PJ第2回公開シンポジウム参加報告】

昨年にも参加させていただいた、「エビデンスに基づいて保護者とともに取り組む発達障害児の早期療育モデルの実装プロジェクト第2回公開シンポジウム」(やっぱり長い…)に今回も勉強しに行ってきました。フレンズジムはABA=応用行動分析学の考えを取り入れながら、運動療育をしています！しかも集団療育です！という異色の事業所なのかな、と思います。が、やはり確かな答えを導き出してくれるABAは、すでにフレンズジムの屋台骨になりつつあります。

今回のシンポジウムでは、ABAならではのちょっと馴染みのない言い回しや、とにかくたくさん集中トレーニングをする療育という偏ったイメージを、どうしたら受け入れやすく、また様々な場面で取り入れていけるということを実感してもらうのか、というお話が出ていました。私もまだまだ勉強中の身ですが、常々考えることではあります。どんなに正しいと思って主張しても、相手に正しく伝わらなければ意味がないのと同じで、相手がイメージしやすく、実践できる形にして伝えなければいけないですね。今まさに支援者には、バリエーション豊かな実践方法のレパートリーと、それを適切に届けていく力量が求められている、という事なのですね…(^_^)

シンポジウム終了後は、「よし、明日もまた出会う人みんなから学ばせてもらおう！」と欲張りな気合を入れつつ帰宅いたしました。

中野



会場には支援者トレーニング用のロボットも来ていました！！もう、セッションをロボットと練習する時代なんですね～！明瞭な発声と指示の出し方の良い練習になりそう